

# 生存科学研究ニュース

VOL. 12, NO.5

1997. 9. 10 発行

発行 財団法人 生存科学研究所

〒104 東京都中央区銀座4-5-1

電話 03-3563-3518

## 「21世紀医療システム」研究会

9月8日(月)午後5時から、「21世紀医療システム研究会」が会議室で行われた。報告者は日本福祉大学教授二木立氏で、報告題名は、「日本型(病院主導)保健・医療・福祉複合体の実証的研究」であり、研究の狙いは、現在未来を先取りする形で進行しつつある21世紀の保健・医療・福祉の供給システムを正確に予測することにおかれた。報告者の危惧は、最近の医療・福祉改革の議論が保険偏重で、供給システムの検討が欠落していることであり、それゆえに、そのような議論から導き出された通説、すなわち、①「保健・医療・福祉の連携と統合は自治体(病院)主導」になる、②「社会保障給付の重点は今後、医療から福祉へシフトする」というような説は、いずれも事実誤認であるとし、民間医療機関主導(大病院や病院チェーンのみならず、中小病院、診療所の参入もあり)の保健・医療・福祉複合体が、全国的に多数形成されるとの予測を、実証的に明らかにした。

二木氏の分析は、①研究目的、②用語の定義と分類、③調査方法、④調査の実施、⑤結果の解釈、というように手堅く、研究の手順を踏んでおり、この点から官庁統計とその発表を鵜呑みにしてはならないことが強調された。

二木氏の研究は、すでに専門誌『病院』に第1報～第6報として発表されており、保健・医療・福祉複合体の各タイプとそれぞれの特徴が整理されている。二木氏の熱弁と参加者の鋭い質問とで討論は盛り上がり、問題点のありかについての理解が深まった。

今回は、10月20日(月)に、川上武氏を招き、近著『21世紀への社会保障改革-医療と福祉をどうするか』(勁草書房)をめぐる、掘り下げた討論を行う。

## 生存科学研究所への期待

小島 静二\*

今期、常務理事という大役を仰せつかり、まず私に何ができるのかを考えた時、その前に、生存科学研究所という所が何をすべき所なのかを自分なりに知る必要性を感じた。

生存を科学する研究所としてみますと、生存、即ち生きる存在の意味(幹)を科学する、即ち、(1)各界の枝葉を系統だてて(幹を)探す。若しくは、(2)各枝葉の分析によって(幹を)証明するための研究所、即ちシステムを作る場とでもなるのだろうか。

生きる存在の意味とは、移りゆく時代や環境と共に変りゆくものなのか、はたまた宇宙の真理の如くいつの時代も不変のものなのか。私個人に

とって、この生きる存在の意味は、「私達は、どのように生きていけばよいのか」この素朴で単純な疑問の中に集約されているのです。その上で、生き続ける事、である様に思えるのです。もしこの仮説を立てたとすれば、生き続けるという行為は、かなり重要な命題になり得る訳です。

今、時代は或る節目を迎え、今世紀の忘れ物を取り戻し、迎え来る新世紀に身をもって応えなければなりません。武見先生の確立された「生存の理法」、とてもバランスのとれた素晴らしい言葉ですし、本質はこれからの時代に間違いなく即していると思います。しかし、武見太郎という人間を知らない

人の増えた今、生存科学研究所も一つの節目を迎えているという事実があると思います。この節目を乗り越えるためにも、「生存の理法」をこれからの世代を築いていく人達に明解に説いていく必要があると思うのです。「私達は、どうして生きられよう。」この素朴な疑問は、今、この時、大多数の人が抱いている疑問だと思うのです。これ

らの人にきっかけを与えられるオピニオン・リーダーが、この生存科学研究所に必要な気がするのです。それは例えば、女性であり、若者であり、芸術家であれ、宗教家であれ、医療従事者、教育

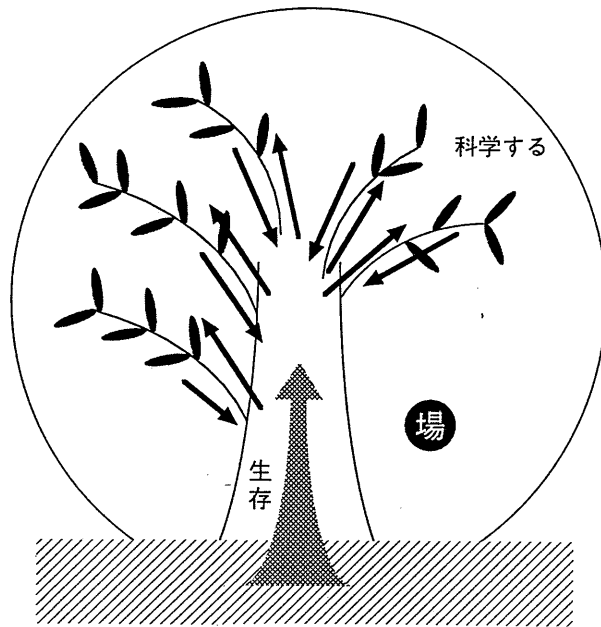
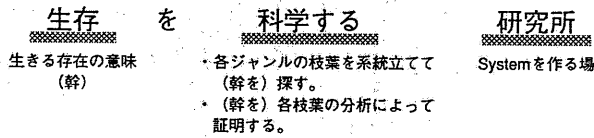
者等、老若男女を問わず、そのきっかけを作る事のできる新しいパワーを必要としています。

今後、その為の企画も、どんどん実験と称して打っていくつもりであります。生存科学研究所における私の役割と自覚した次第であります。

「生き続ける意味を問い、そのSystemを造り、次代の人々のLand-Markを築く事」この事への情熱を分かち

合える人々のいる事を信じて止まない私からの提言です。

**生存科学研究所の役割 (私見)**



\*生存科学研究所常務理事、小島齒科クリニック院長

第2回生存科学公開講座  
「脳の生命科学」 師岡 孝次\*



脳の健康を保つ秘訣を予防医学の最先端の健康科学を基礎にして、生存科学的なアプローチで解説した。いわゆるプラス思考を起こすに

は、脳の栄養としてビタミンB<sub>12</sub>が必要であるという仮説の検定実験として、健常者の東海大学の学生15名のクレペリンテストの結果は、全員が1ヵ月間、毎日成績が向上したこと、各個人差はあるが、連続的に成績が向上した。また、インドの小学校における実験例では、ボンベイ市から数百キロ北のいわゆる肉食主義の地域で一切肉類を食べない地域の小学校で、同じような実験を実施したところ全員が個人差はあるが同じように向上した。

又、老人が本年1億人を超え、痴呆患者が発生し始めている中国では、講演者の所属する中国医科大学で脳に対する予防医学的配慮から、師岡研究室との共同研究で開発され、中国政府から承認を得た「羅生門Ⅱ」の効能と、ビタミンB<sub>12</sub>が果たす機能について薬学的内容の説明とその試供品が参加者全員に謹呈された。この薬品の名称は講演者によって命名され、昨年、北京で新聞社の記者会見で発表された。詳細は参考文献「痴呆に効く薬」師岡孝次著、日本プランニングセンター社をご参照下さい。羅生門Ⅱを試食されたいご希望者は生存科学研究所の事務所にご連絡下さい。

\* 生存科学研究所専務理事、日本健康科学学会常任理事、東海大学教授

第3回生存科学公開講座  
「日本に医療はない」ト部 文麿\*



宗教なかんづく世界の7割をしめるキリスト教圏の人々には、その取り巻く生活環境から信仰は誕生と同時に刷り込み現象として染み込んでいる。それが

医療においてもごく当然のこととしてヒーリングに反映され、医療はセラピーとヒーリングが表裏一体化し、切り離すことができない。

ところが、日本の医療はこのような観点から考慮すると多くの問題を抱えており、極論すると演題のタイトルのように「日本に医療はない」と言えるわけである。この点を非常に分かりやすく懇切丁寧に解説され、参加者に深い感銘を与えられた。

我が国においても近年ヒーリングの必要性が叫ばれるようにはなってきたが、果たして教育や学習で心の問題まで埋めるとは考えにくいからである。この点についても刷り込みと根本的に異なることを解説された。

\* 生存科学研究所常務理事、精神科医、バイオサナトロジー学会常務理事、医療と宗教を考える会世話人、Dr エリザベス・キューブラー・ロスによるLDTワークショップ日本代行

#### 第4回生存科学講座のお知らせ

第4回生存科学講座は下記の通り開催いたしますので、ぜひご参加下さい。なお、参加費は1000円ですが、生存研の会員は無料で参加できます。

#### 記

日時 平成9年9月27日(土) 1:00~3:00  
場所 東京福音会センター  
中央区銀座4-2-1銀座教会内  
☎03-3561-2910  
講師 田村 貞雄 生存科学研究所理事、早稲田大学教授  
テーマ 日本の医療保険制度の行方  
参加費 一般1000円、会員無料  
連絡先 TEL03-3563-3518 FAX03-3567-3608

ご参加を希望される方は事務局まで葉書、あるいはファックスでご連絡下さい。

#### バイオサナトロジー学会からのお知らせ

当学会も皆様のお力添えにより、今年は5年目を迎えることができます。しかし資金不足等から、色々な形でのサービス提供が少ないことも痛切に感じております。

例年ですと総会は10~11月に行って参りましたが、本年度は5周年の記念すべき年でもあり、懇親会の方も皆様に喜んで頂ける珍しい趣向を準備しているところですが、諸般の状況の調整がなかなか難しく、来年1月末頃まで延期せざるを得ないことになりそうでございます。

以上の点ご理解頂きたく、ご通知申し上げます。

尚、それまでに組織的なこと、運営、内容など、5年目の節目として、重要な理事会を開催いたすつ

もりでございます。

また、過去10人のスピーカーの書き起し文をまとめたものの冊子を作成する準備をしております。

#### 会員へのご案内

#### 第13回LDT\*ワークショップ開催要項

(\*LDTとは、Life, Death and Transitionの略)

平成9年10月24日(金)~26日(日) 2泊3日

会場：神奈川県

正確な場所及び送迎手段などは、参加決定の方にのみお知らせいたします。定員：30名程度

参加費：6万円(宿泊費・食費を含む)

参加費用に関しては、分割納入、あるいは助成方式が適用されますので、お申し

出ください。このことに関しましてもプライバシーが守られます。

お問合せ・申込

〒658神戸市東灘区住吉山手1-6-2

うらべ医院内 ワークショップ係

#### 研究所日報

- 7月26日(土) 平成9年度第2回生存科学講座
- 7月29日(火) 第2回受託事業「個人毎の健康度と疾病リスクの解析に関する研究」合同会議会
- 8月7日(木) レオンチェフ文庫等協力委員会
- 8月23日(土) 平成9年度第3回生存科学講座
- 8月28日(木) 第3回受託事業「個人毎の健康度と疾病リスクの解析に関する研究」合同会議会
- 9月8日(月) 「21世紀医療システム」研究会